

CO₂ネットゼロ社会づくりの推進についてのアンケート結果

県では、2050年までのCO₂ネットゼロ(県域からの温室効果ガス排出量実質ゼロ)を目指すとともに、その取組を通じて、地域や産業の持続的な発展をも目指す「CO₂ネットゼロ社会づくり」を推進しています。

今般、気候変動問題(人的要因による、地球の表面温度の長期的な上昇とそれによる自然環境への影響)やCO₂ネットゼロ社会づくりに関する県民の皆さんの意識の把握等を目的としてアンケート調査を実施しました。



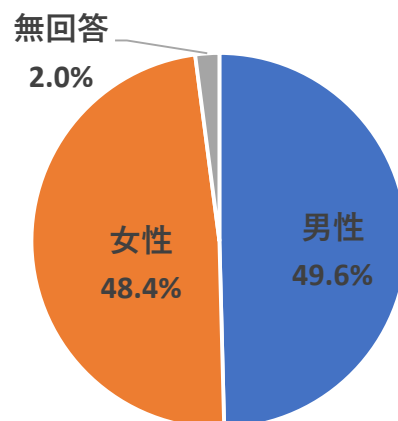
【CO₂ネットゼロ社会づくりの取組はこちら】

- ★調査時期:令和6年7月
 - ★対象者:県政モニター 300人
 - ★回答数: 244人(回収率81.3%)
 - ★担当課:総合企画部 CO₂ネットゼロ推進課
- ※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

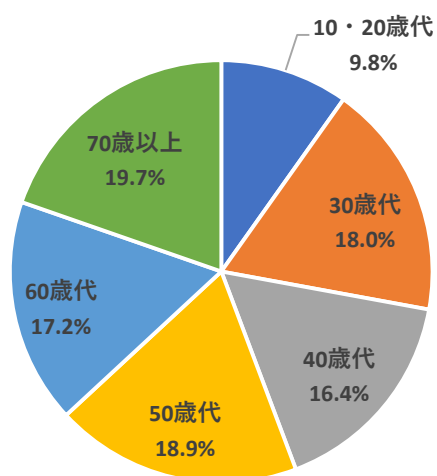
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	121	49.6%
女性	118	48.4%
無回答	5	2.0%
総計	244	100.0%



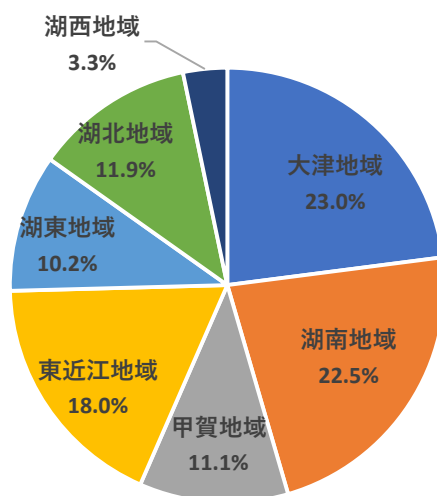
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20 歳代	24	9.8%
30 歳代	44	18.0%
40 歳代	40	16.4%
50 歳代	46	18.9%
60 歳代	42	17.2%
70 歳以上	48	19.7%
総計	244	100.0%



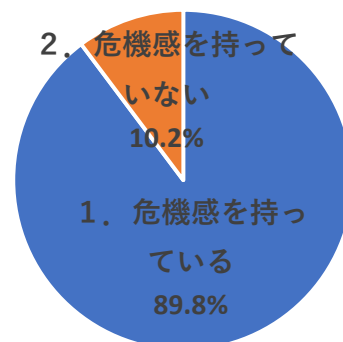
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大津地域	56	23.0%
2. 湖南地域	55	22.5%
3. 甲賀地域	27	11.1%
4. 東近江地域	44	18.0%
5. 湖東地域	25	10.2%
6. 湖北地域	29	11.9%
7. 湖西地域	8	3.3%
総計	244	100.0%



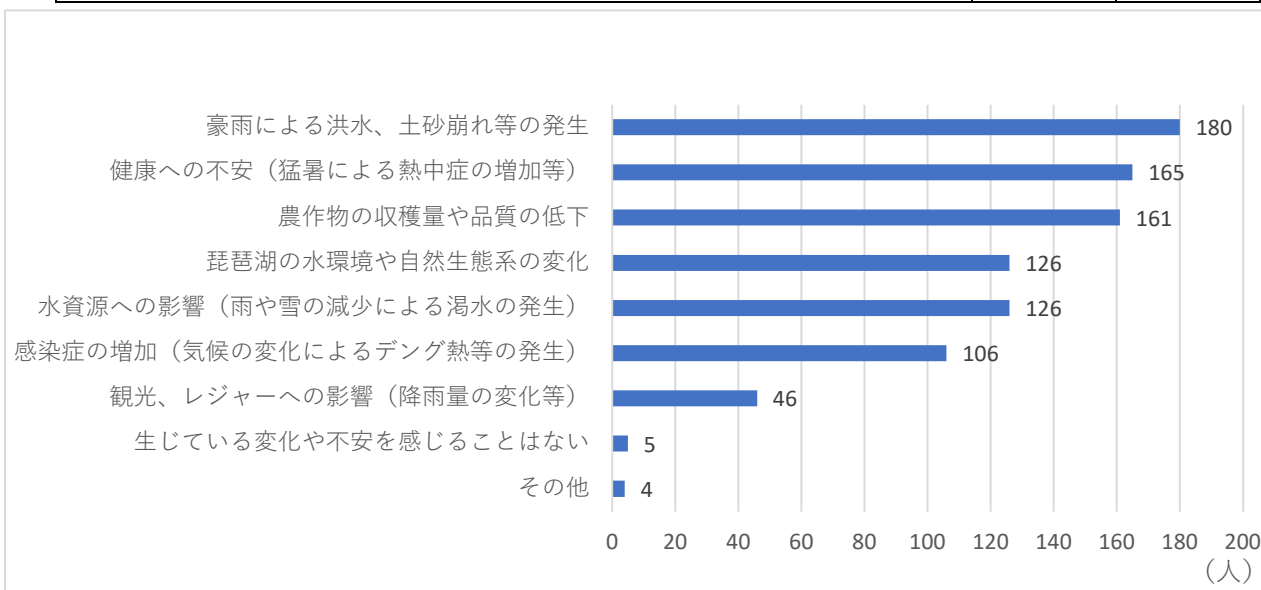
問1 気候変動に関して、昨今県内でも大雨や猛暑など気候変動の影響と思われる現象が顕著に現れています。あなたは気候変動に対して危機感を持っていますか。(n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 危機感を持っている	219	89.8%
2. 危機感を持っていない	25	10.2%
総計	244	100.0%



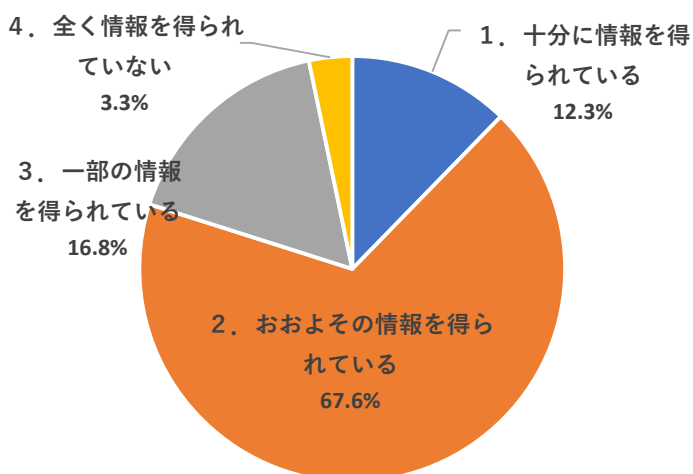
問2 次のうち、気候変動に関して、あなたの身の回りで生じていると感じる変化や、今後不安に感じることはありますか。(「生じている変化や不安を感じることはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
豪雨による洪水、土砂崩れ等の発生	180	73.8%
健康への不安(猛暑による熱中症の増加等)	165	67.6%
農作物の収穫量や品質の低下	161	66.0%
琵琶湖の水環境や自然生態系の変化	126	51.6%
水資源への影響(雨や雪の減少による渇水の発生)	126	51.6%
感染症の増加(気候の変化によるデング熱等の発生)	106	43.4%
観光、レジャーへの影響(降雨量の変化等)	46	18.9%
生じている変化や不安を感じることはない	5	2.0%
その他	4	1.6%



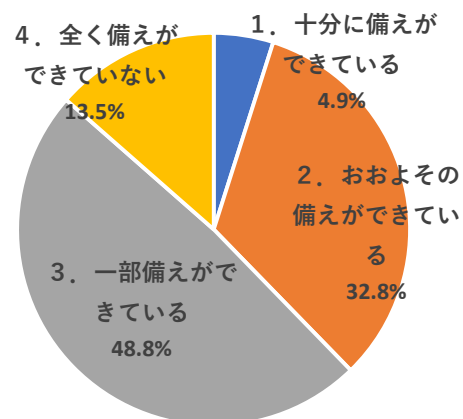
問3 熱中症警戒情報や浸水リスク情報、土砂災害警戒情報等といった気候変動によるリスクの情報は十分に得られていますか。あなたの状況に最も近い選択肢を選択してください。
(n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
1.十分に情報を得られている	30	12.3%
2.おおよその情報を得られている	165	67.6%
3.一部の情報を得られている	41	16.8%
4.全く情報を得られていない	8	3.3%
総計	244	100.0%



問 4-1 熱中症、浸水、土砂災害といった気候変動によるリスクについて、十分に備えができていますか。あなたの状況に最も近い選択肢を選んでください。(n=244)

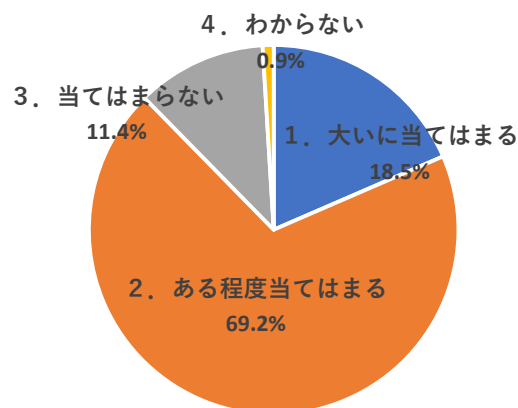
項目	人数(人)	割合(%)
1.十分に備えができています	12	4.9%
2.おおよその備えができています	80	32.8%
3.一部備えができています	119	48.8%
4.全く備えができていない	33	13.5%
総計	244	100.0%



問 4-2 問4-1で「1.十分に備えができています」「2.おおよその備えができています」「3.一部備えができています」と回答された方におたずねします。以下の(1)～(4)の各項目について該当するものを選択してください。

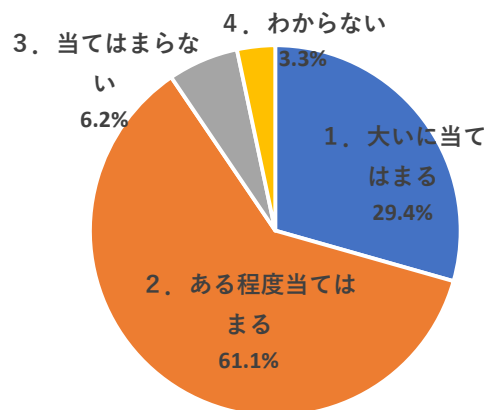
(1) 熱中症対策グッズを用意したり、熱中症警戒アラート等の情報を収集したりするなど熱中症予防のために対策を行っている。(n=211)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大いに当てはまる	39	18.5%
2. ある程度当てはまる	146	69.2%
3. 当てはまらない	24	11.4%
4. わからない	2	0.9%
総計	211	100.0%



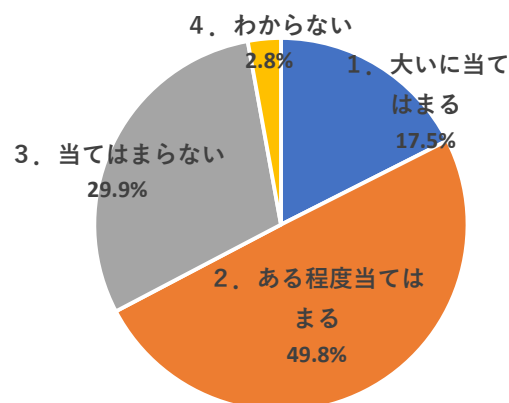
(2) 災害時にどこに避難すべきか知っている。(n=211)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大いに当てはまる	62	29.4%
2. ある程度当てはまる	129	61.1%
3. 当てはまらない	13	6.2%
4. わからない	7	3.3%
総計	211	100.0%



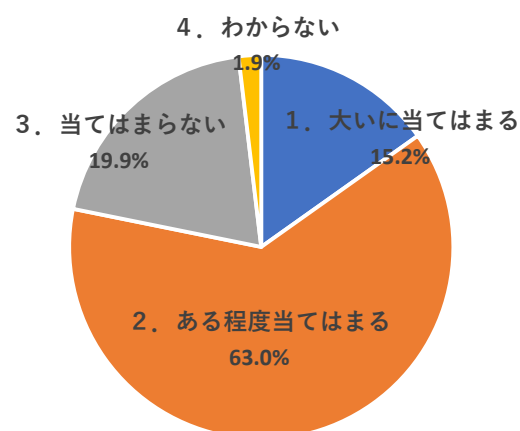
(3) 家族との緊急時の連絡方法を決めている。(n=211)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大いに当てはまる	37	17.5%
2. ある程度当てはまる	105	49.8%
3. 当てはまらない	63	29.9%
4. わからない	6	2.8%
総計	211	100.0%



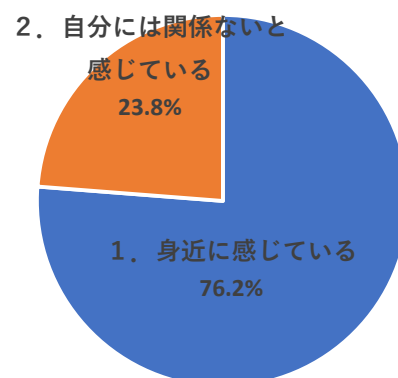
(4) 災害時に備え、非常食や防災用品を備蓄している。(n=211)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 大いに当てはまる	32	15.2%
2. ある程度当てはまる	133	63.0%
3. 当てはまらない	42	19.9%
4. わからない	4	1.9%
総計	211	100.0%



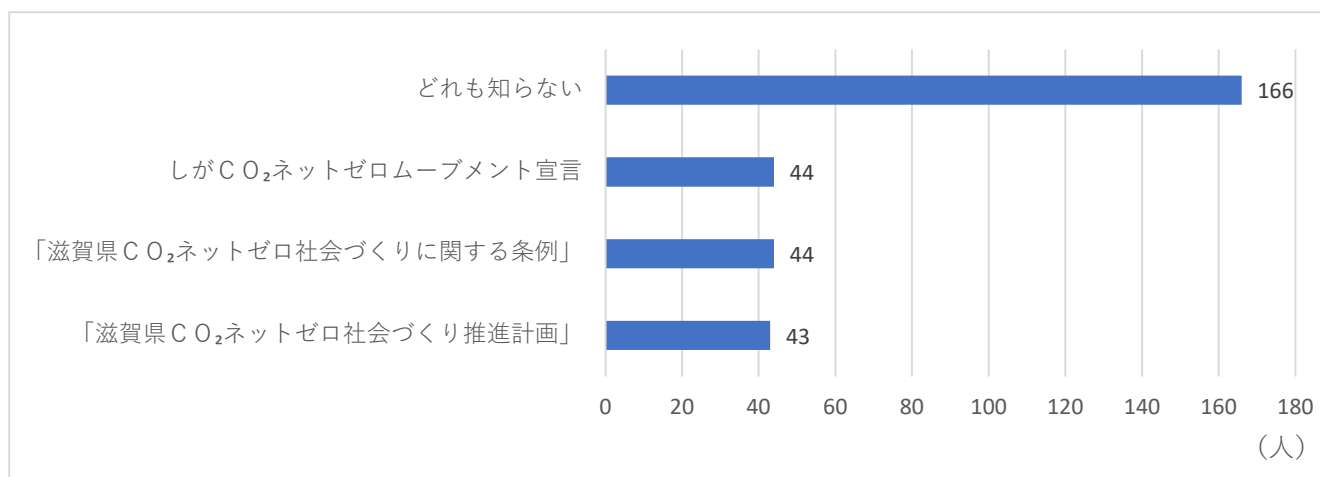
問5 地球温暖化を防止するため、国内外において脱炭素の流れが加速化する中で、CO₂ネットゼロ社会の実現に向けた取組を自分自身に関わることとして身近に感じていますか。
(n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 身近に感じている	186	76.2%
2. 自分には関係ないと感じている	58	23.8%
総計	244	100.0%



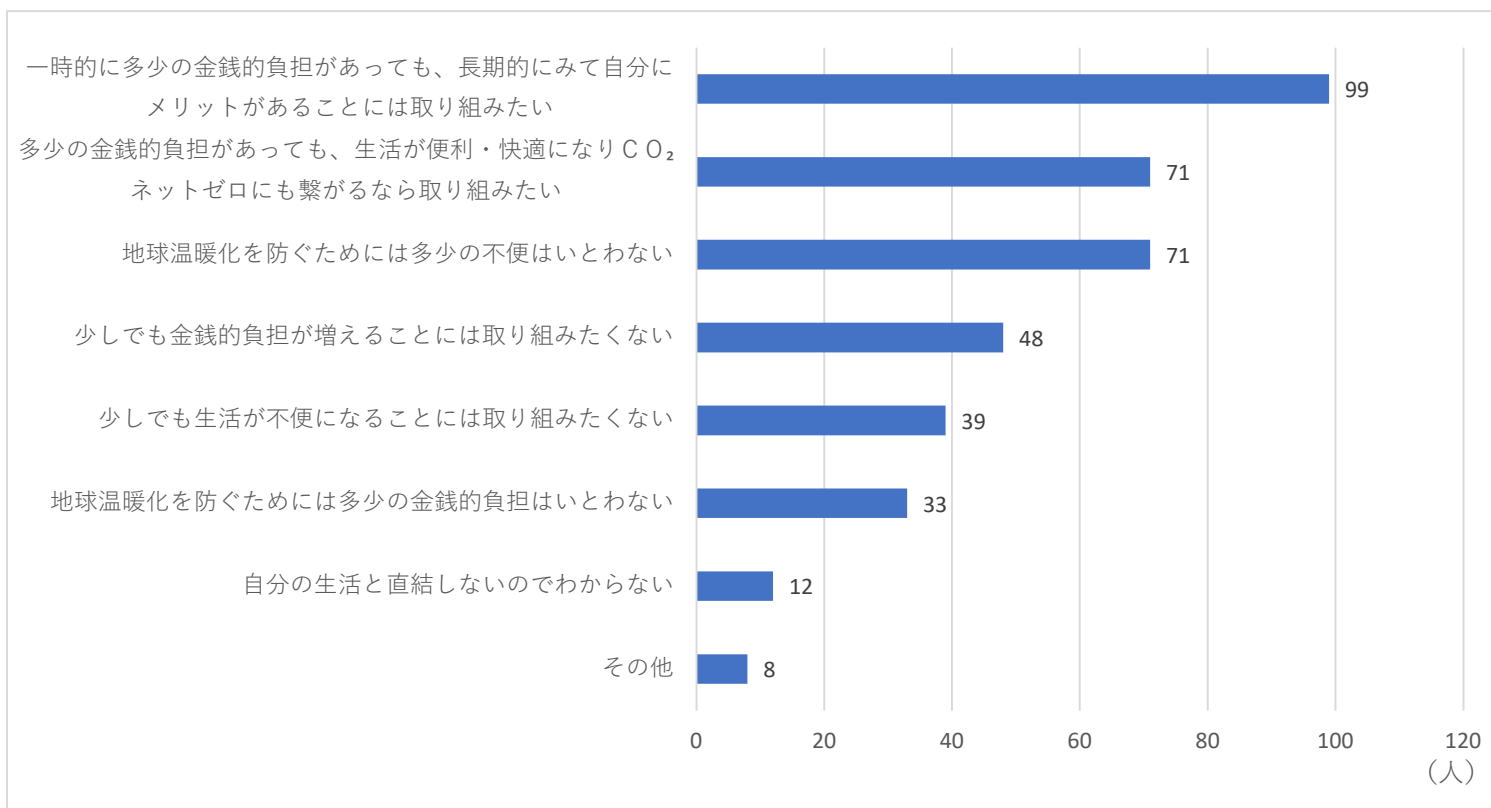
問6 本県は令和2年1月に、県域での2050年CO₂ネットゼロ(温室効果ガス排出量実質ゼロ)を宣言し、その取組を進めるべく令和3年度には、CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例および計画を策定しました。次の中から、あなたが知っているものを選択してください。(「どれも知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
どれも知らない	166	68.0%
しがCO ₂ ネットゼロムーブメント宣言	44	18.0%
「滋賀県CO ₂ ネットゼロ社会づくりに関する条例」	44	18.0%
「滋賀県CO ₂ ネットゼロ社会づくり推進計画」	43	17.6%



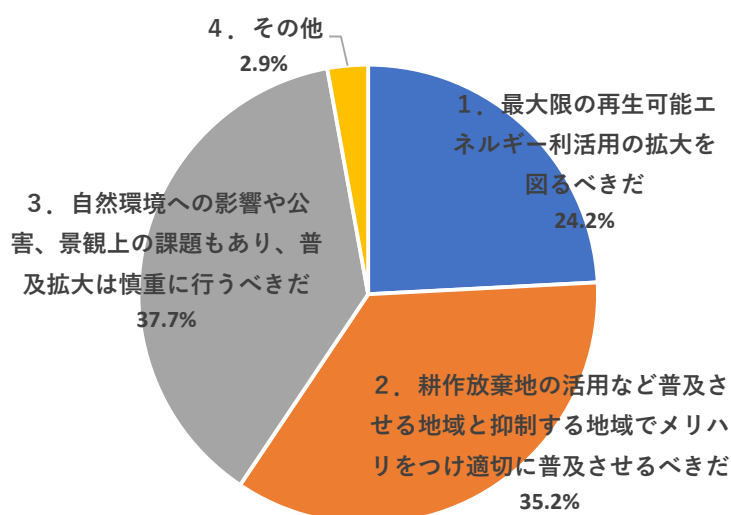
問7 県が目指すCO₂ネットゼロ社会づくりに向けては、私たちの生活様式や行動を変える必要があります。これに関して、あなたの考えに合うものを選択してください。（「自分の生活と直結しないのでわからない」を選択した場合を除き、回答チェックは2つまで。n=244）

項目	人数(人)	割合(%)
一時的に多少の金銭的負担があっても、長期的にみて自分にメリットがあることには取り組みたい	99	40.6%
多少の金銭的負担があっても、生活が便利・快適になりCO ₂ ネットゼロにも繋がるなら取り組みたい	71	29.1%
地球温暖化を防ぐためには多少の不便はいとわない	71	29.1%
少しでも金銭的負担が増えることには取り組みたくない	48	19.7%
少しでも生活が不便になることには取り組みたくない	39	16.0%
地球温暖化を防ぐためには多少の金銭的負担はいとわない	33	13.5%
自分の生活と直結しないのでわからない	12	4.9%
その他	8	3.3%



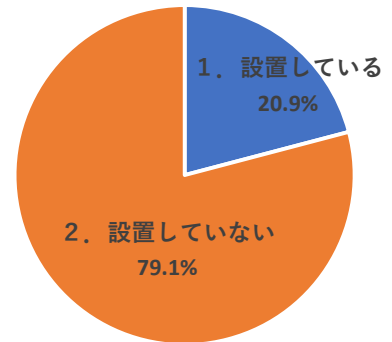
問8 CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に向けては、再生可能エネルギーをできる限り増やしていく必要があります。再生可能エネルギーのより一層の普及拡大に関してどのような考えをお持ちですか。あなたの考えに最も近い選択肢を選択してください。(回答チェックは1つだけ。n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 最大限の再生可能エネルギー利活用の拡大を図るべきだ	59	24.2%
2. 耕作放棄地の活用など普及させる地域と抑制する地域でメリハリをつけ適切に普及させるべきだ	86	35.2%
3. 自然環境への影響や公害、景観上の課題もあり、普及拡大は慎重に行うべきだ	92	37.7%
4. その他	7	2.9%
総計	244	100.0%



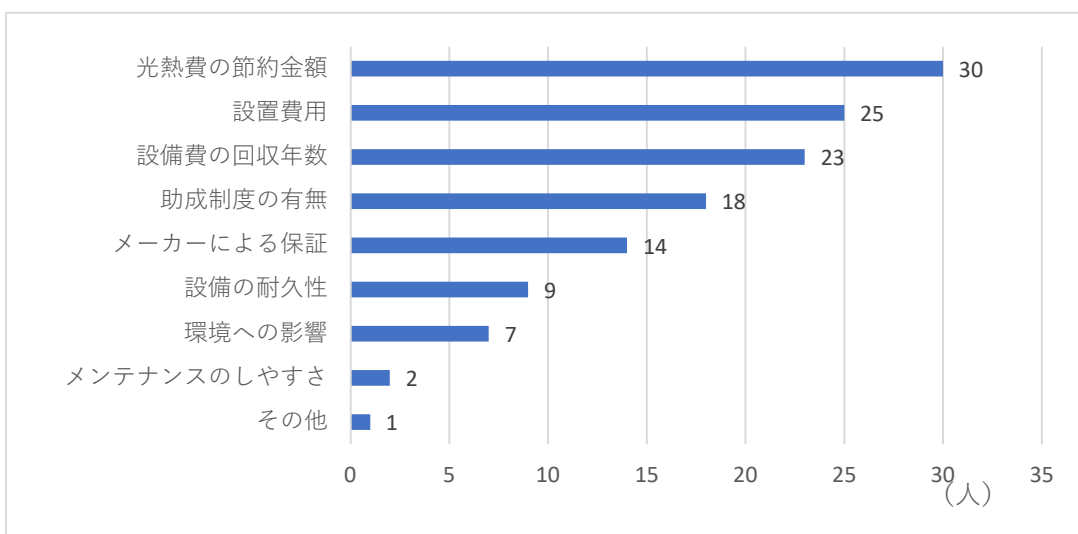
問9-1 ご自宅に太陽光発電設備を設置されていますか。(n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 設置している	51	20.9%
2. 設置していない	193	79.1%
総計	244	100.0%



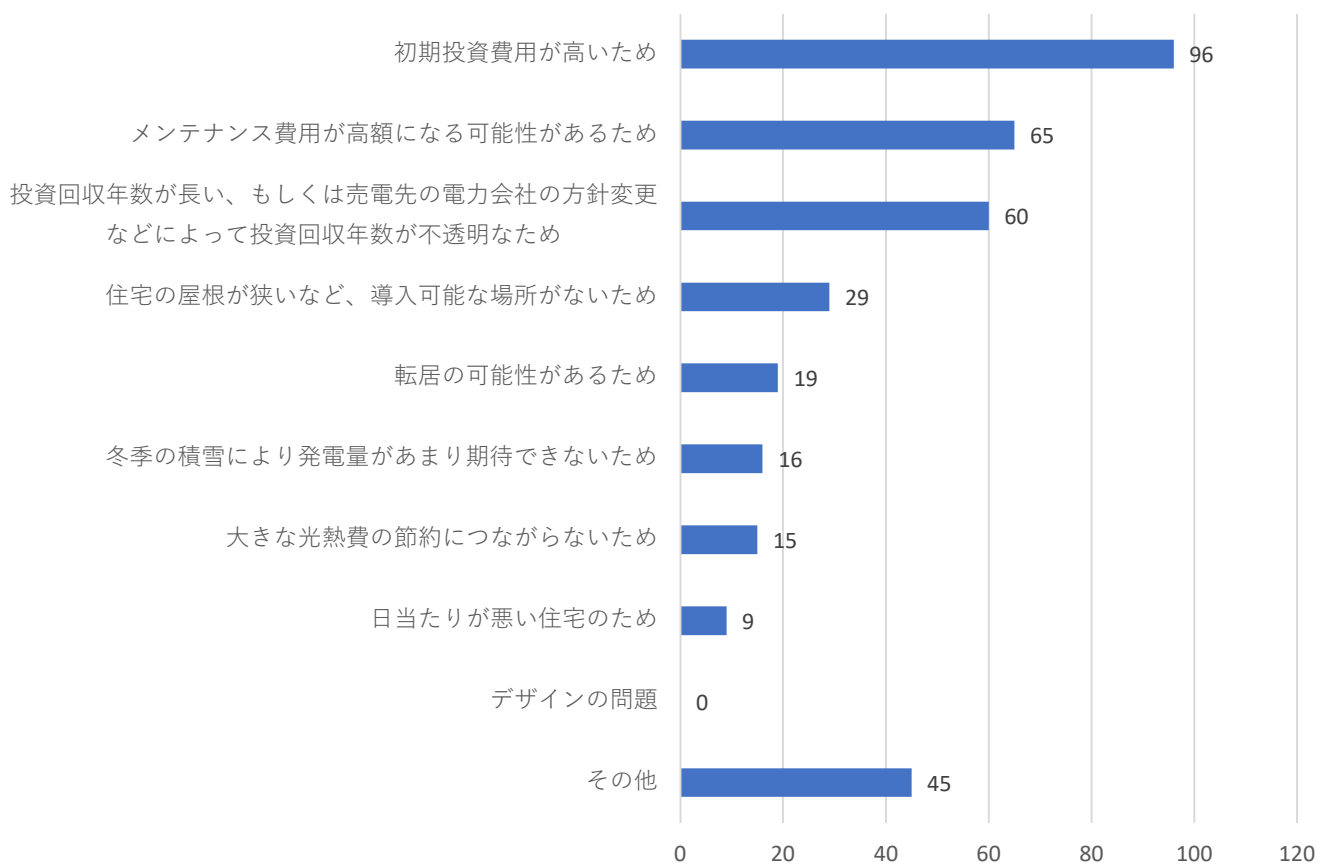
問9-2 問9-1で「1. 設置している」と回答された方におたずねします。太陽光発電設備を設置するにあたって重視された項目を選択してください。(回答チェックは3つまで。n=51)

項目	人数(人)	割合(%)
光熱費の節約金額	30	58.8%
設置費用	25	49.0%
設備費の回収年数	23	45.1%
助成制度の有無	18	35.3%
メーカーによる保証	14	27.5%
設備の耐久性	9	17.6%
環境への影響	7	13.7%
メンテナンスのしやすさ	2	3.9%
その他	1	2.0%



問9-3 問9-1で「2. 設置していない」と回答された方におたずねします。太陽光発電設備の設置に向けた課題や設置しない理由として当てはまるものを選択してください。(回答チェックは3つまで。n=193)

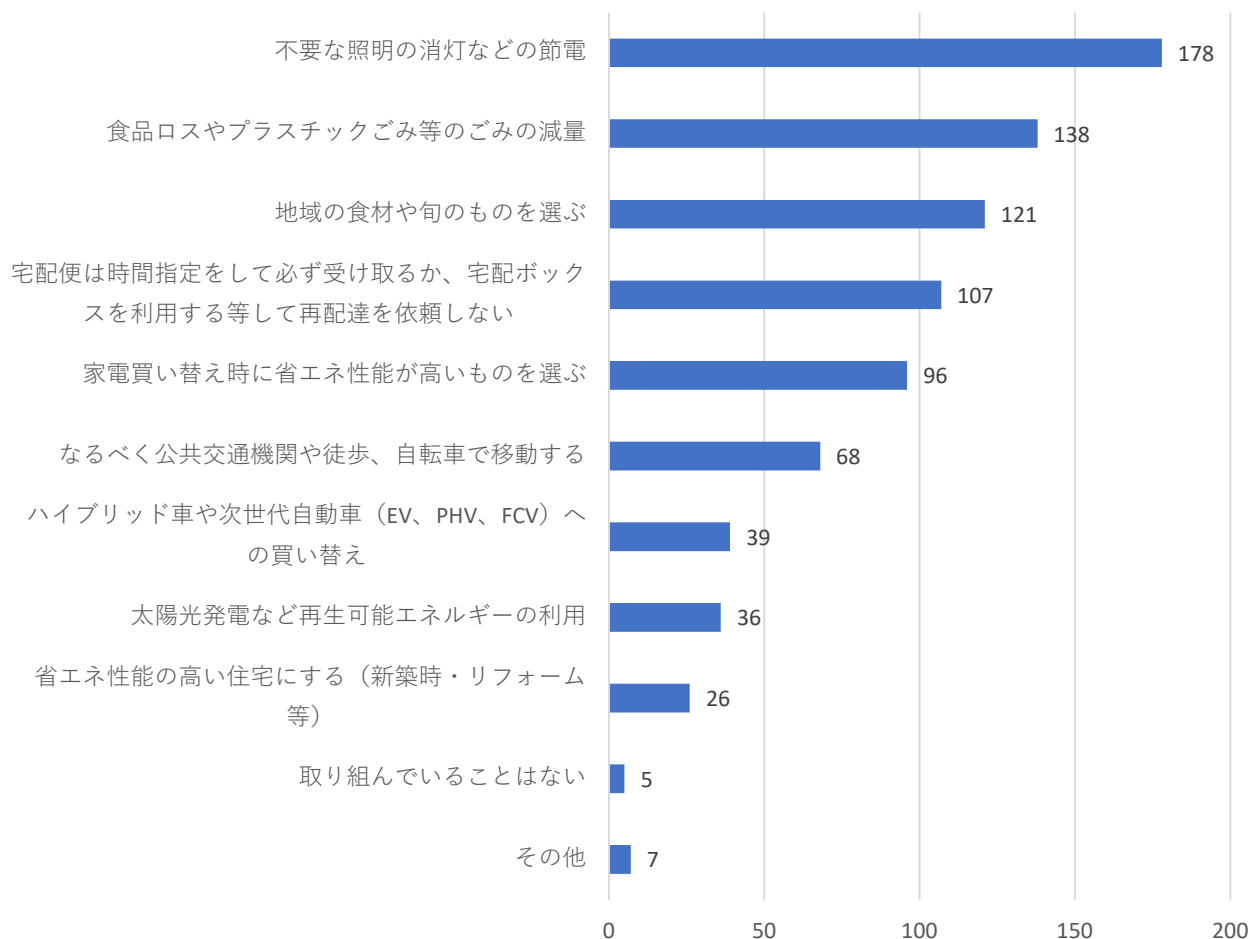
項目	人数(人)	割合(%)
初期投資費用が高いため	96	49.7%
メンテナンス費用が高額になる可能性があるため	65	33.7%
投資回収年数が長い、もしくは売電先の電力会社の方針変更などによって投資回収年数が不透明なため	60	31.1%
住宅の屋根が狭いなど、導入可能な場所がないため	29	15.0%
転居の可能性があるため	19	9.8%
冬季の積雪により発電量があまり期待できないため	16	8.3%
大きな光熱費の節約につながらないため	15	7.8%
日当たりが悪い住宅のため	9	4.7%
デザインの問題	0	0.0%
その他	45	23.3%



(人)

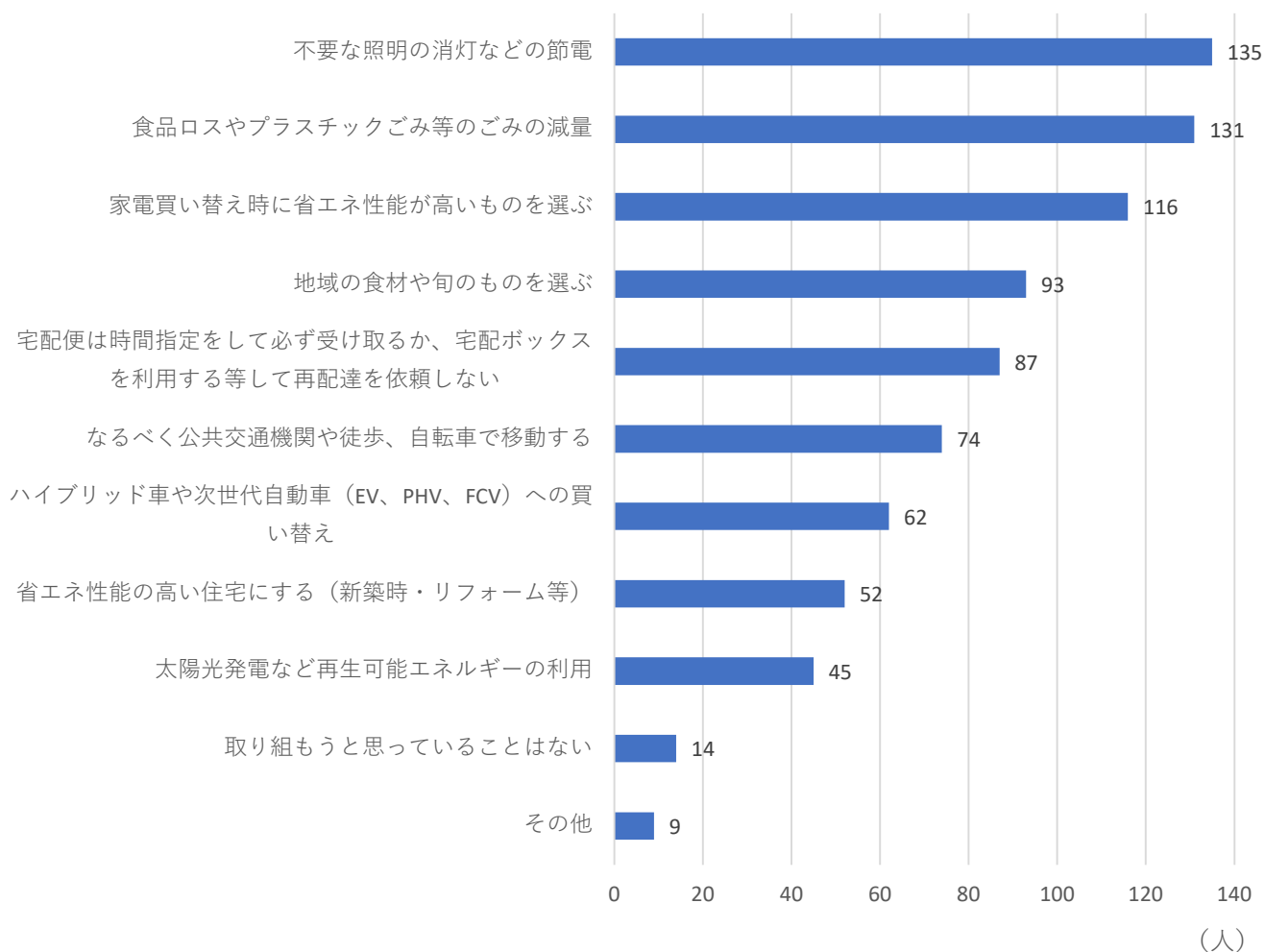
問 10 温室効果ガス排出量の削減につながる次の取組について、あなたが、「現在」取り組んでいることを選択してください。（「取り組んでいることはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244）

項目	人数(人)	割合(%)
不要な照明の消灯などの節電	178	73.0%
食品ロスやプラスチックごみ等のごみの減量	138	56.6%
地域の食材や旬のものを選ぶ	121	49.6%
宅配便は時間指定をして必ず受け取るか、宅配ボックスを利用する等して再配達を依頼しない	107	43.9%
家電買い替え時に省エネ性能が高いものを選ぶ	96	39.3%
なるべく公共交通機関や徒歩、自転車で移動する	68	27.9%
ハイブリッド車や次世代自動車(EV、PHV、FCV)への買い替え	39	16.0%
太陽光発電など再生可能エネルギーの利用	36	14.8%
省エネ性能の高い住宅にする(新築時・リフォーム等)	26	10.7%
取り組んでいることはない	5	2.0%
その他	7	2.9%



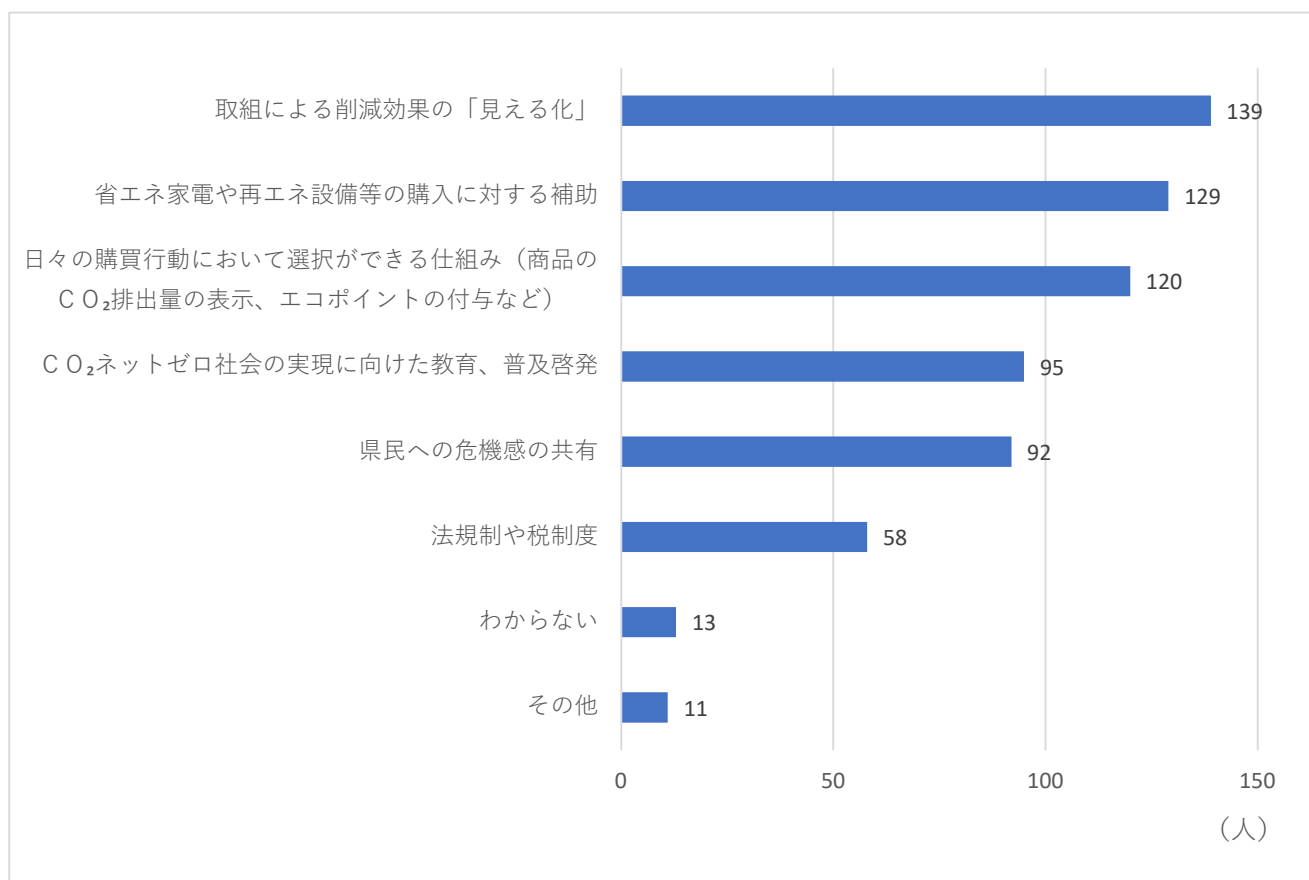
問11 温室効果ガス排出量の削減につながる次の取組について、あなたが「今後」取り組もうと思っていることを選択してください。（「取り組もうとっていないことではない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244）

項目	人数(人)	割合(%)
不要な照明の消灯などの節電	135	55.3%
食品ロスやプラスチックごみ等のごみの減量	131	53.7%
家電買い替え時に省エネ性能が高いものを選ぶ	116	47.5%
地域の食材や旬のものを選ぶ	93	38.1%
宅配便は時間指定をして必ず受け取るか、宅配ボックスを利用する等して再配達を依頼しない	87	35.7%
なるべく公共交通機関や徒歩、自転車で移動する	74	30.3%
ハイブリッド車や次世代自動車(EV、PHV、FCV)への買い替え	62	25.4%
省エネ性能の高い住宅にする(新築時・リフォーム等)	52	21.3%
太陽光発電など再生可能エネルギーの利用	45	18.4%
取り組もうとっていないことではない	14	5.7%
その他	9	3.7%



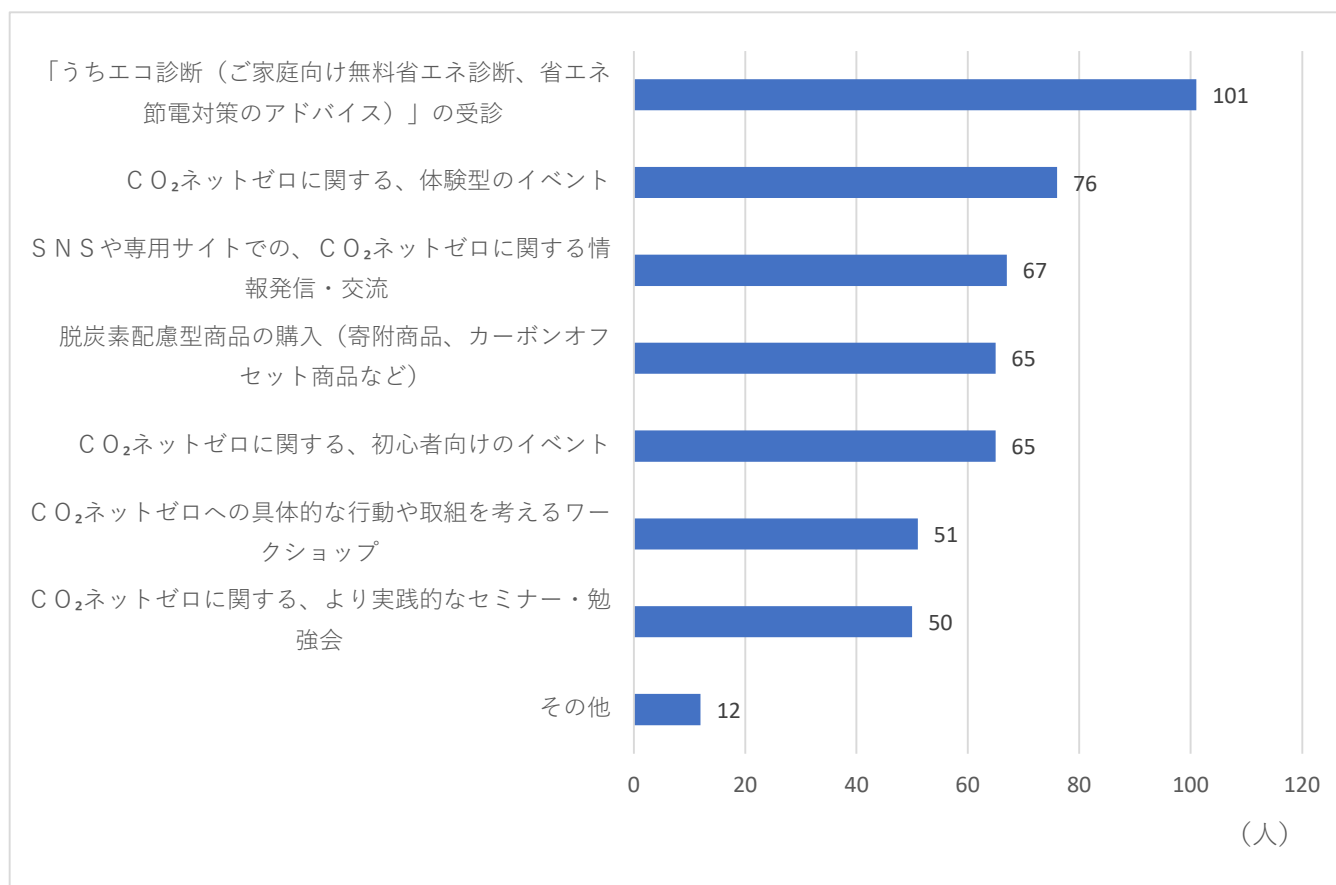
問12 CO₂ネットゼロ社会の実現に向けては、私たち一人ひとりの行動を変えていくことが重要です。行動の変化を促す県の取組として、あなたが重要と考えるものを次の中から選択してください。（「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244）

項目	人数(人)	割合(%)
取組による削減効果の「見える化」	139	57.0%
省エネ家電や再エネ設備等の購入に対する補助	129	52.9%
日々の購買行動において選択ができる仕組み(商品のCO ₂ 排出量の表示、エコポイントの付与など)	120	49.2%
CO ₂ ネットゼロ社会の実現に向けた教育、普及啓発	95	38.9%
県民への危機感の共有	92	37.7%
法規制や税制度	58	23.8%
わからない	13	5.3%
その他	11	4.5%



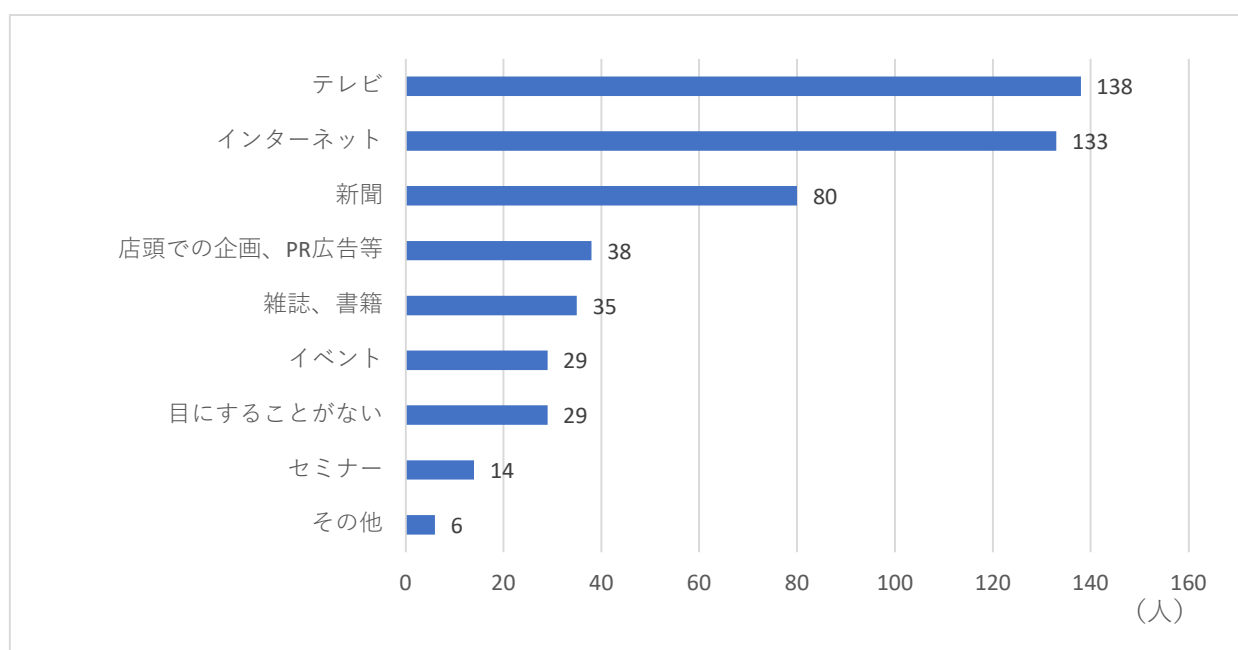
問13 県では、県民や事業者と一丸となって取組を進める「しがCO₂ネットゼロムーブメント」を推進しています。これに関して、あなたが参加したいと思うものを次の中から選択してください。(回答チェックはいくつでも。n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
「うちエコ診断(ご家庭向け無料省エネ診断、省エネ節電対策のアドバイス)」の受診	101	41.4%
CO ₂ ネットゼロに関する、体験型のイベント	76	31.1%
SNSや専用サイトでの、CO ₂ ネットゼロに関する情報発信・交流	67	27.5%
脱炭素配慮型商品の購入(寄附商品、カーボンオフセット商品など)	65	26.6%
CO ₂ ネットゼロに関する、初心者向けのイベント	65	26.6%
CO ₂ ネットゼロへの具体的な行動や取組を考えるワークショップ	51	20.9%
CO ₂ ネットゼロに関する、より実践的なセミナー・勉強会	50	20.5%
その他	12	4.9%



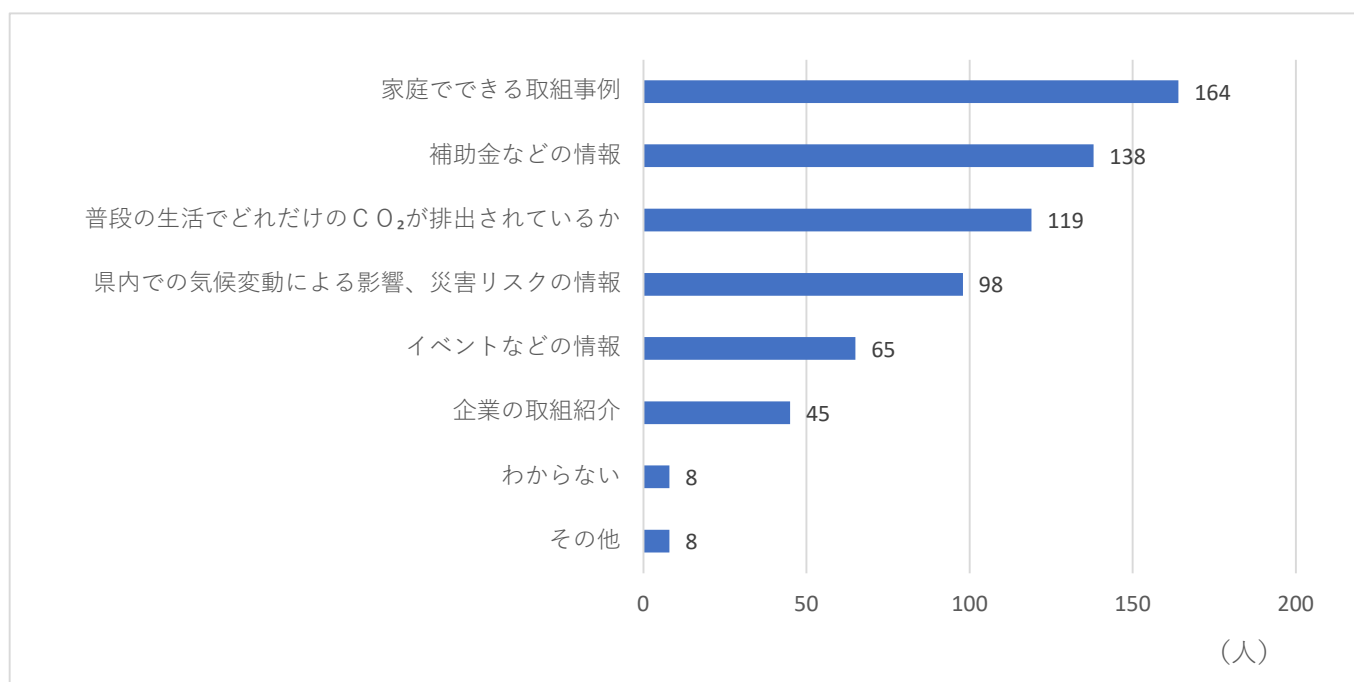
問14 CO₂ネットゼロ(脱炭素関連全般)に関する情報について、あなたは普段どのような場面で目にすることがありますか。(「目にすることがない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
テレビ	138	56.6%
インターネット	133	54.5%
新聞	80	32.8%
店頭での企画、PR 広告等	38	15.6%
雑誌、書籍	35	14.3%
イベント	29	11.9%
目にすることがない	29	11.9%
セミナー	14	5.7%
その他	6	2.5%



問15 CO₂ネットゼロに関する情報について、県にどのような情報を発信してほしいですか。
 (「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=244)

項目	人数(人)	割合(%)
家庭でできる取組事例	164	67.2%
補助金などの情報	138	56.6%
普段の生活でどれだけのCO ₂ が排出されているか	119	48.8%
県内での気候変動による影響、災害リスクの情報	98	40.2%
イベントなどの情報	65	26.6%
企業の取組紹介	45	18.4%
わからない	8	3.3%
その他	8	3.3%



問16 その他、本県の CO₂ ネットゼロ社会づくりについてご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

県民には渋滞緩和策が、CO₂ ネットゼロ社会づくりへの協力を求めやすいと思います。

太陽光発電は、一見良いように見えますが、本来地面に照射されていた太陽光エネルギーが途中で遮断されて、土中の生態系を変えているのではないのでしょうか。風力発電は、風下の気象・気候あるいは生態系に与える影響は無いのでしょうか。

発電能力は小さいですが、マイクロ水力発電は、環境や生態系に与える影響が小さいと思います。ただ、効果が限定的で、商業化されにくいので、普及していないと思います。という様なことを考えれば、一口に再生可能エネルギーは全部良いとは言い難く、もっと慎重に取捨選択すべきではないのでしょうか。

近年、電力事業で風力、太陽光発電が注目されています。水力、火力、原発より遥かにいいと思います。

しかし、適材適所が大切かと。

琵琶湖の一番北の川の源である山肌が大雨のたび削られ川が濁ってきています。上流の山の斜面がしっかり整備されずにいたからです。

そこに風力発電を設置するという話を聞いています。それだけで恐ろしくなります。

道幅も広げ、山もまた削られ、土砂が流れ、川底も上がり、洪水が起きやすくなっています。

その影響か、姉川や高時川産の鮎の漁獲量が減少していると聞きます。

是非、県のお力で風力発電設置に伴う山林破壊を止めていただきたいと思います。(伊吹山の災害は結構ニュースに取り上げられているんですが…)

見える化や数値化した値を生活の動線とリンクさせることで、生活を見直すきっかけとなり、具体的にどんな実践をしていけばよいか、わかるのではないかと。

企業に協力願うことが、大きな進歩となるだろう。

一部の人間が頑張っ解決する課題ではないと思うので、誰もがすぐに取り組めるような仕組みなどがあるとよい。実施することで何かしら還元があると取り組もうとする人はいると思うが…

家計を考えると、エコへの関心はどうしても後回しになってしまいます。

電気をなるべく消すなど節約に繋がることは心がけておりますが、エアコンを制限することは難しいですし、食品・製品もなるべく安いものを選んでしまいます。

子供と学べるエコイベントなど、知識や体験で得るものがあるイベントがあると家族で考える時間ができて良いなと思います。

また、大手企業や興業(スポーツ・イベント)スポンサーや主催が、CSRとしてエコ活動をアピールされていると好感があり、応援したくなる感覚はあります。

<p>2050年のネットゼロ社会が実現した姿について、複数でもよいので、具体的に示してほしい。例えば、節電とごみ減量という事も大事ですが、それよりも、2050年で想定される世帯数、車所有台数において、電気、ガスの再生エネルギー利用の割合、太陽光発電、省エネ器具の導入割合、エコ住宅の普及度合、電気自動車のハイブリッドの普及状況等を想定し、それを実現するための、現状把握、モニタリングのしくみづくりと施策立案、補助金等による施策立案が必要と思います。又、CO₂排出を減らす事について、直接CO₂を取り込んで、CO₂を減らす事についての取り組みや、滋賀県のCO₂量のモニタリングと県民への発信により、施策の進捗が見える様にして欲しい。</p>
<p>成長の限界が1970年には紹介されている。2000年には京都議定書が。振り返ると、国と行政の取り組みが遅すぎる事が明確である。特に日本国民は文化づくりにとてつもなく長い道のりを要す人種である。防災文化が典型的である。客観的にみて明らかなことは、中央集権制度を頼らずに地方分権力を行使すべきである。というのは、県民には必ず先駆的役割を果たす人がいる。その事例を活用することで県民に展開できるはずである。工夫があるが方法はある。もう一つは、行政の仕事力の低さである。机上での作業が多すぎる。HPを見る人がどれだけいるか？ポスターの効果はどれほどか？ほとんど効力はないのだ。地道に直接訴えかける方が早いというのが日本国民である。知事や市長が街頭で訴えかける方が効果的である。選挙活動以上に大事なテーマなので、容易にできるはずである。時には、議員がやるのもよし。真剣に考えて欲しい。</p>
<p>CO₂ネットゼロ社会づくりとSDGsの違いがよくわからず、どちらも漠然としたイメージしか持っていない。例えば問13の選択肢に「脱炭素配慮型商品の購入(寄附商品、カーボンオフセット商品など)」とあるが、日常の買い物においてそのような商品を見かけることはない。県が地元の商業施設と連携するなど、具体的で積極的な取り組みをしていただければと思う。</p>
<p>太陽光発電は無許可開発など逆に自然破壊となる事例が後をたたない。先に補助金ありきで取り組んだ反動です。しっかり監視してください。また、車からバスに乗り換えようとしてもバス路線は削減、廃止されているため年寄りには車が手放せない社会になっている。マイクロバスを使用して利便性の良い交通網を構築すべき。</p>
<p>省エネ家電や再エ設備等 全てそうしたいと国民の多くは思っています。これからの若い人たちが家庭を持ち、家を建てる場合は義務的に太陽光パネル設置されるでしょうし地熱利用などあらゆる方法を取り入れられると思います。ただ既存の我が家の様な木造家で瓦が重い昔ながらの家の屋根に設置となると、屋根から一部にしてもやり替え工事をして、と設置には費用が大きくなり、今の設置補助金が出ても魅力とも思えません。また、設置の場合、何処にでも適するのでしょうか？業者さんに相談して大きなローンを組んだりも出来ないのでも進んでの気持ちにはなれないです。生活や老後の先行きに困らないほどお金があれば、全てしたいです。</p>

<p>CO₂ネットゼロ社会が重要なことを、昨今のますます激化する異常気象で痛感します。普段の社会生活の様々なシーンで、個人・組織・企業など無駄を感じる事が多くあり、これら一つ一つの無駄を取り除くことが大きい成果に結びつき、そのためには県下の人々、滋賀県を訪れる人々の意識が重要です。大きくは太陽光や風力などの利用があります。身近なゴミのポイ捨てが無くなれば、どれほどの無駄が解消されるか分からない程の効果があります。県には素晴らしい資料があることが分かりました。これらの資料が、各家庭や、各組織や、各企業などに伝わり活きる事が、大きい成果を生む根源と考えます。種々の組織で作成され、お持ちの資料の活用のご検討を希望します。</p>
<p>比較的災害の少ない滋賀県なので、一部の県民を除き、CO₂排出による気候変動などを本当に身近に感じているか疑問。 不安ばかりかき立てるのは良くないが、この10年、20年で気温、異常気象の発生状況、それによる被害など、そして今後の予想などTV、新聞、県の冊子やHPなどで定期的に明示して欲しい。</p>
<p>県民誰もが出来ることから始めれば、それが行く行くは大きなムーブメントになると思う。初めから大風呂敷を広げずに、小さいことからコツコツと積み重ねていくことが大切だと思う。CO₂ゼロ、とてつもなく大きな目標と思われがちだが、一人一人の些細な取り組みがやがては大きな実を結ぶと思う。</p>
<p>真面目に取り組んだ成果がわかりづらいものなので、成果が可視化できないと取り組みづらい。節約のために行っていることが結果としてCO₂削減につながっているだけで、CO₂削減を目的とした行動はしていない。</p>
<p>まだまだ自分たちで何かできるかを実践していない人多すぎる。 もっと危機感を持って欲しい。 何か大きな打開策を上からしてほしい</p>
<p>「CO₂ネットゼロ社会づくり」ありきの進め方に違和感を覚えます。省エネや自然破壊につながるようなことは避けたいのは勿論のことですが、安易な温暖化対策は県政を見誤ることになります。もっと県の産業を活性化させて、企業誘致も行き、県の財政が潤い、県民の税負担を減らすことにこそ注力すべきです。国の偏った政策に乗ってはいけません。CO₂ネットゼロを言うならもっと原発稼働を推進すべきです。</p>
<p>こういう問いの時に「なにを実践しているか」ときかれるけど、きかれたことはたいてい既に実践していて、これ以上何をしろというのだろうか？と思う。つまり個人でできることはよびかけてもすでにみなしていて効果が少ないのでは？法人に呼び掛けたり規制していくのが効果的だと思う。</p>
<p>滋賀県のCO₂ネットゼロ社会づくりについては、まだまだ県民一人ひとりの理解は得られていないと思うので、限られた予算の中から補助も含めてアピールしていく必要があると思う。</p>

まず、温対法に関連する地方自治体実行計画の策定・公表がきちんと行われることを期待する。無論、内容・目標の定期的なアップデートも同様である。

次に、推進計画における県または市町村の役割分担をより明確に示すことを期待する。一般論ではなく、環境政策において本県の自治体が「どのような目標を達成するために」、「どのような権限で」、「どのような行動を実行するか」を示すことが重要ではないだろうか。

最後に、CO₂排出だけではなく、広義的な環境問題の改善・解決に資する KPI あるいは政策評価を期待する。偏重ゆえに他の問題が悪化していないか、改善を阻害していないかを確認する上でも、適切な指標をもとに政策立案・実行に取り組んでいただきたい。

CO₂ネットゼロ社会づくりの取組自体は非常に良いと思います。ただ、県民として実践する際、CO₂排出削減をしたくても、マイカーでしか移動手段が無いなど、現実的にできない場面が多いです。公共交通機関までへのアクセスが非常に悪いからです。ちょっとバスを増やす、相乗り可能なタクシー等、買い物や病院に行くといった、日常生活でCO₂を出させないために、消費者として協力できる環境を整えてほしいです。

また、県をあげてこのような取組をされていることは、この機会に初めて知り得たことです。せっかくの取組が周知されていないことは残念に思います。商業施設や身近な公民館などで、周知のための出前講座とかイベント等を開催して、県民に幅広く知れるようにもしてほしいです。